

令和8年度予算の全体像（令和7年8月7日経済財政諮問会議決定）
（抜粋）

2. 予算編成を通じたワイズスペンディングの徹底

（経済・財政新生計画推進のための取組の強化）

- ・ 経済・財政新生計画及び骨太方針2025に掲げる改革項目をスピード感を持って進めるとともに、関係する会議体との連携を強化しつつ、「進捗管理・点検・評価表」²等を通じてPDCAを強化する。それにより政策効果に乏しい既存事業を大胆に見直し、ワイズスペンディングを徹底する。
- ・ 特に、昨年末決定した「EBPMアクションプラン」に掲げる10の重要政策・計画³の分析・検証を本格化する。また、本年末の同プランの見直しに向け、重要な改革項目である、①2040年以降を見据えた介護提供体制の確保、②急激な少子化の進行等を見据えた連携・再編・統合による高等教育の機能強化や規模の適正化を同プランの対象に加えるとともに、③地方創生に係る同プランの内容について「基本構想」を踏まえ再検討する。
- ・ 国民一人一人のウェルビーイング（幸福度）の高い経済社会を構築すべく、働く、学ぶ、健康、子育て、地域の生活に関する基本計画や大綱等において、実効的なKPIの設定を進める。

² 「経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表2025」（2025年5月26日経済財政諮問会議決定）。

³ 「EBPMアクションプラン2024」（2024年12月26日経済財政諮問会議決定）に掲げる①効率的な医療・介護サービスの提供体制の構築、②年齢・性別に関わらず生涯活躍できる環境整備、③少子化対策、④質の高い公教育の再生、⑤研究・イノベーション力の向上、⑥広域のまちづくり、⑦地方創生2.0、⑧防衛生産・技術基盤の維持・強化、⑨GXへの投資、⑩半導体関連の国内投資促進。